

当院では、倫理委員会の承認得て、下記の臨床研究を実施しています。研究は対象となる患者様から個別に同意を得て行う研究ではなく、国が定めた指針に基づき、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われる研究になります。研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名：採卵誘発周期における LH サージ抑制を目的とした経口黄体ホルモン（メドロキシプロゲステロン酢酸エステル）の開始時期について

研究責任者：山口 和香佐

研究目的と意義：採卵誘発周期に早発 LH サージによるキャンセルを経験する。黄体ホルモン存在下でも誘発可能なことが知られており、早発 LH サージ予防目的で下垂体抑制作用のある経口黄体ホルモン（メドロキシプロゲステロン酢酸エステル:MPA）を併用し、その開始時期を検討した。内膜黄体化で同周期での新鮮胚移植はできないが、アンタゴニストのような過度の抑制なく、費用や通院負担を減らせる利点もあり、採卵誘発調整時の薬剤選択肢の1つになると思われる。

研究方法：誘発開始と同時にMPA開始をA群（6例）、最大卵胞10~12mmで開始をB群（12例）、最大卵胞13~15mmで開始をC群（14例）とし、3群間で臨床成績を後ろ向きに比較検討した

対象となる患者様：平成30年7月~平成31年1月、MPA（プロゲストン®10mg/day）併用で誘発採卵した32例

発表学会（日時）：第37回日本受精着床学会総会・学術講演会 平成31年8月1日（木曜日）~2日（金曜日）

個人情報の取り扱い：本研究に使用するデータにはお名前、住所など個人を特定できる情報は一切含んでおりません。また、研究成果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究の対象となる患者様は参加への拒否を申し出ることができます。2019年7月1日までに下記へお問い合わせください。この期日以降は利用する情報から個人情報を削除するため、利用する情報が削除不可能となります。

問い合わせ先：

【住所】 静岡市駿河区泉町2-20

【担当者】 福田純子

【電話番号】 054-288-2882

【FAX】 054-288-2883

【メール】 tawara-ivf@i.softbank.jp